

# 川棚民報

2024年4月号外

定例川棚町議会の報告を紹介します

発行 日本共産党川棚支部

電話 090-9790-5564



日本共産党川棚町議会議員

## 辻きよと 町議会報告

日本共産党の辻きよと町議は、3月定例議会で、石木ダム建設について、交通道路標示について、住宅、空き家対策について一般質問をしました。

### 石木ダムができれば、 災害が無くなるのか？

#### 内水氾濫などの危険を質問

石木ダム建設の石木川は、川棚川の10分の1の流量です。町長は、12月定例会で

川棚川に流れ込む水量、石木ダム建設予定地の石木川は、10分の1しかないが10分の1でも効果があれば石木ダムは必要だという答弁でした。しかし後の10分の9の対策は、考えていないのではないかと、石木ダムありきで、石木ダムさえできれば、洪水による災害が無くなると本気で考えているのか、と辻きよと町議は町長に質問しました。

野口川の洪水対策をどのように考えているのか尋ねます。野口川は、水路がコンクリートで整備されているが深さが確保されず溢れる危険性が指摘されている。野口川の下流域通路が歩行に危険なので、手摺をつけてほしいと要望されている。

野口川は、水路がコンクリートで整備されているが深さが確保されず溢れる危険性が指摘されている。野口川の下流域通路が歩行に危険なので、手摺をつけてほしいと要望されている。

#### 住民に寄り添った話し合いを

「広報かわたな」に、町長が川原地区の方々を訪問したという記事ですが、どんな話ができただのか。またどんな目的で行ったのか尋ねます。

佐世保市や県に対して、石木ダム反対住民が求めている、工事の一時中断やダムの必要性を議論する公開討論会を提案し開催することだと思おう。信頼関係を築くには、話し合いの場を作るといった仕事を町長にはしていただきたい。

水源地域住民の理解なくして事業の進展はなく、水源地域住民との話し合いによる早期解決を願っている、このことから石木ダム建設の話し合いによる早期解決を知事へ要望させていただいております。

町長は、1990年7月2日の洪水を例にあげられるが、野口川の水が川棚川に流れずあふれ、内水氾濫とされている。この認識はあるのか尋ねます。

川棚町は過去に死者や住宅倒壊、床上、床下浸水など甚大な被害を経験していることから、川棚川の抜本的な治水対策は、喫緊の課題であり、住民の安全、安心を確保することは行政の責務であります。平成2年度の大洪水は、外水氾濫も内水氾濫も起きていますと認識している。

野口川の洪水対策をどのように考えているのか尋ねます。野口川は、水路がコンクリートで整備されているが深さが確保されず溢れる危険性が指摘されている。野口川の下流域通路が歩行に危険なので、手摺をつけてほしいと要望されている。

町長 川棚町は過去に死者や住宅倒壊、床上、床下浸水など甚大な被害を経験していることから、川棚川の抜本的な治水対策は、喫緊の課題であり、住民の安全、安心を確保することは行政の責務であります。平成2年度の大洪水は、外水氾濫も内水氾濫も起きていますと認識している。

野口川の洪水対策をどのように考えているのか尋ねます。野口川は、水路がコンクリートで整備されているが深さが確保されず溢れる危険性が指摘されている。野口川の下流域通路が歩行に危険なので、手摺をつけてほしいと要望されている。

野口川の洪水対策をどのように考えているのか尋ねます。野口川は、水路がコンクリートで整備されているが深さが確保されず溢れる危険性が指摘されている。野口川の下流域通路が歩行に危険なので、手摺をつけてほしいと要望されている。



石木ダム付替道路工事の現場